

2011年度 森林統計学 第1回

担当: 森林科学コース
鈴木保志

講義の進め方・注意事項

- 講義予定(配布資料)
- 教科書
- 予習と復習
- 課題評価
- 試験
- オフィスアワー

教科書



- 全14章
- 1～8章、12章の一部
 - 「森林統計学」
 - 3章 “確率”は高校数学
- 9～13章
 - 「森林応用統計学」
 - 隔年集中(今年度開講)

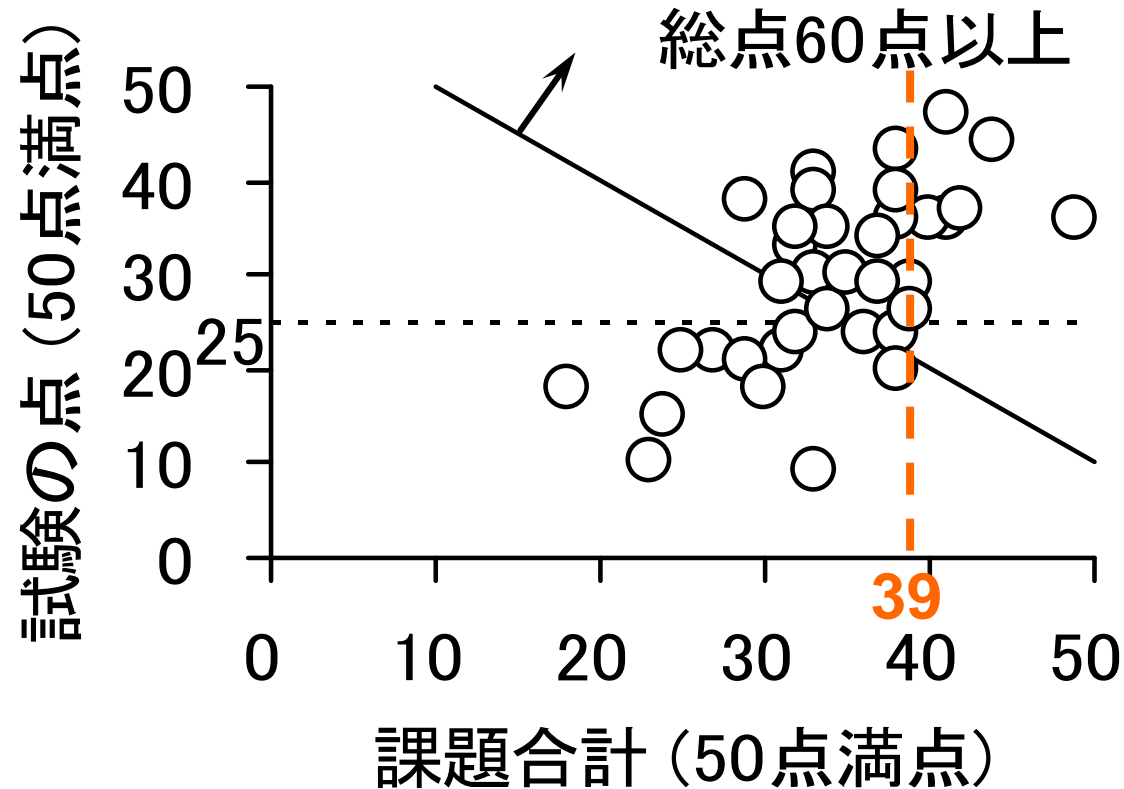
成績の評価

- 出席点は考慮しない
 - 単に講義に出ることが目的ではない
 - 出席状況は把握している
- 課題50点、試験50点
 - 課題資料はWeb資料として載せる
 - Web資料のURL (<http://www.cc.kochi-u.ac.jp/~ysuzuki/kougi.htm#STATISTICS>)はシラバスから訂正あり、KULAS参照(講義連絡で送信, 後で確認して下さい)
 - 翌週提出としているので再履修者は注意
 - 就職活動等で遅れる場合も+1週程度に(要連絡)

成績の評価

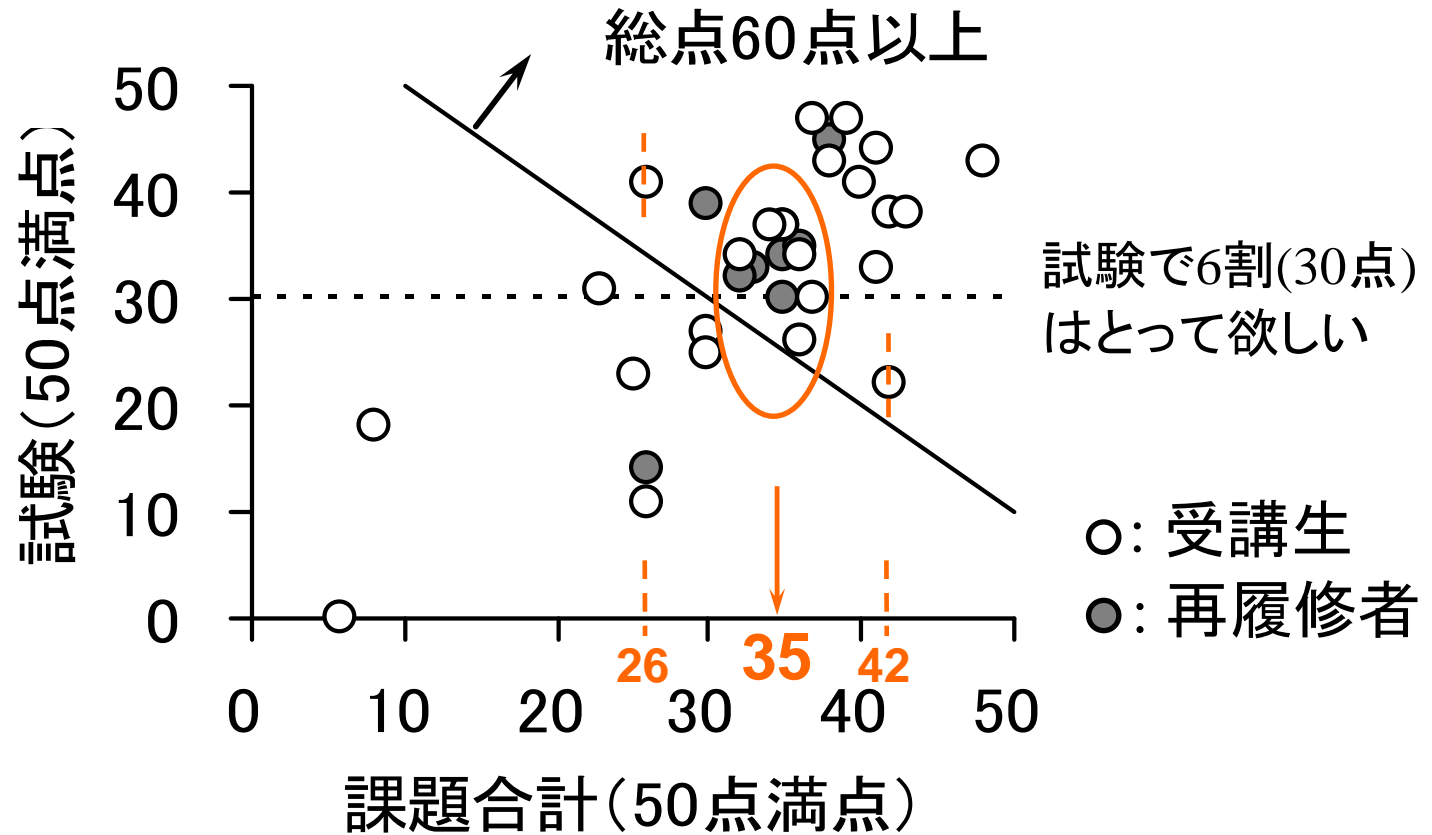
- 再履修者の課題点
 - － 旧年度の課題点は1年分は残している
 - 再履修者: 前年の課題点は有効,今年提出分は追加点として評価する
 - 再々履修者: 旧年の課題点は無効,すべてやり直しが必要
 - － 課題の回数とおおまかな内容は前年と変わらないが、詳細は毎年改訂しているので、再提出する時には今年の課題の指示を参照すること。

2009年度の成績



- 課題点と試験の点はほぼ比例している
 - － 課題の理解度が高い ⇨ 試験の達成率も高い
- 一昨年度実績のボーダー
 - － 課題点39点以上, 試験25点以上

2010年度の成績

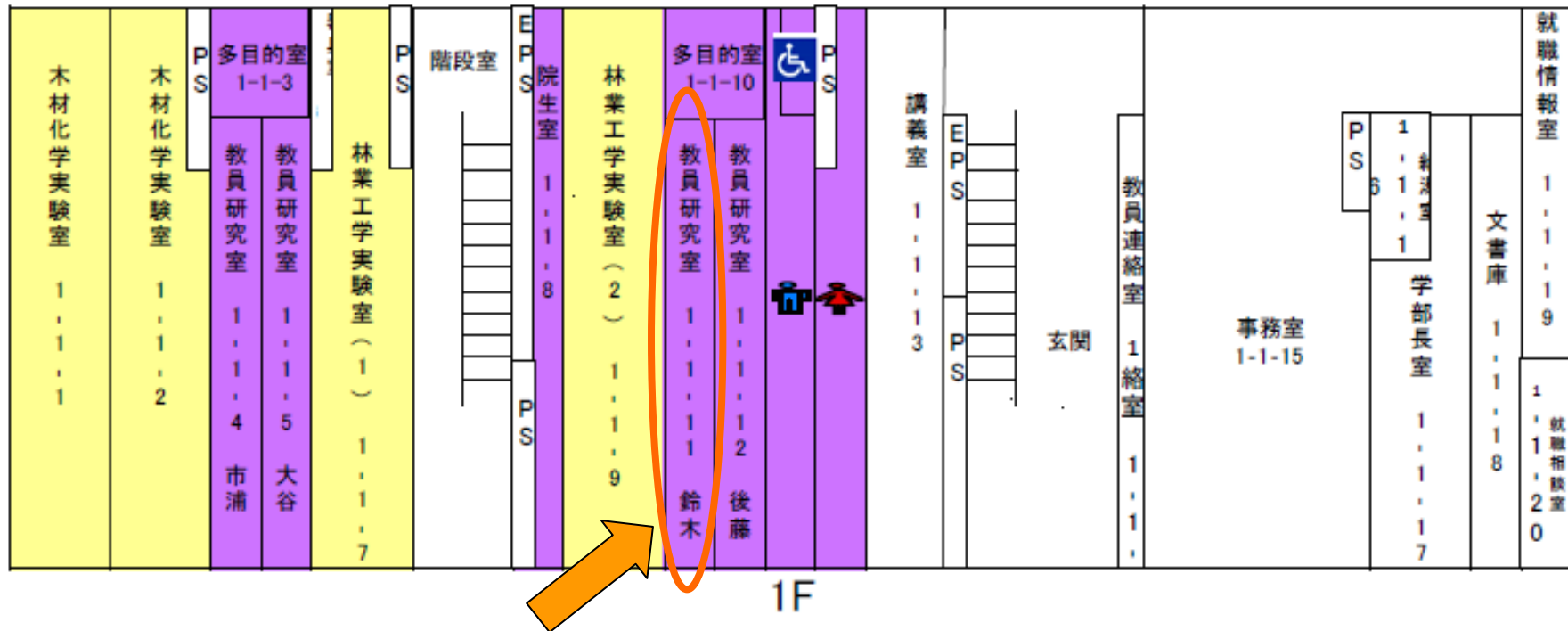


- 昨年度実績のボーダー
 - － 課題点**35**点程度, でおおむね試験も30点程度以上
- 課題点と試験はほぼ比例しているので、まずは課題をしっかりとって35点程度以上は確保することが重要

勉強の心構え

- 予習と復習を
 - 予習: 教科書の下読み、例題
 - 復習は教科書の練習問題と課題で
- 課題は「なぜ」を常に意識して
 - 資料作成の「作業」ではない
 - なぜ、を理解するための「勉強」が目的
 - わからなければ質問を

オフィスアワーを利用して質問を



- 質問、相談など
 - 旧年度実績でもオフィスアワーを利用した者の理解度は高かった
- 火曜日の昼休み(12:00-13:00), 5限相当時間の前半(16:30-17:15)
- 指定時間以外はメールなどで事前に問い合わせてもらえると確実
 - ysuzuki@kochi-u.ac.jp

※4月20日頃までは2号棟2階の仮居室にいます